

授業科目 老年看護学実習Ⅰ

【担当教員名】 望月 紀子、袖山 悦子 他		対象学年	3	対象学科	看護	
		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	1	時間数	45	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	◎	◎	◎	○		
【概要・一般目標：G10】 施設で生活する高齢者および生活機能障害のある高齢者を理解し、高齢者の健康の維持増進活動における取り組みと看護の役割・機能を理解する。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 施設で生活する高齢者および生活機能障害のある高齢者を理解する。 2. 施設における高齢者の健康の維持増進活動における看護の役割・機能を理解する。						
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員			
	1. 学内オリエンテーション 2. 施設の特徴・看護の役割を学ぶ。 3. 施設の特徴・高齢者の特徴を学ぶ。	1～2 1～2 1～2	各実習グループを編成する。 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設で1日実習をする。 高齢者グループホームで1日実習をする。			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>		
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書	老年看護学一般論と看護の実践— 認知症高齢者の看護 図説 統計で分かる介護保険 2010 福祉小六法 2011	奥野茂代・大西和子編 中島紀恵子編 財団法人厚生統計協会編 大阪ボランティア協会編	ヌーヴェルヒロカワ 医歯薬出版 財団法人厚生統計協会 中央法規	2010・3,900円＋税 2010・3,900円＋税 2010・2,400円 2011・1,400円＋税		
その他の資料						
【評価方法】 実習評価表で60点以上及び出席が実習時間の4/5以上であること		【履修上の留意点】 実習内容については変更の可能性があります。				